

「君が創り 君が輝く 時代となれ」をスローガンに第75回青森県高校総体の主会期が3日、県内各地で始まる。6日までの4日間、生徒たちが11市町を舞台に、全国高校総体(7月23日～8月23日・徳島県ほか)などを見据え、計28競技で熱戦を繰り広げる。3日に青森市で開催予定だった総合開会式は、新型コロナウイルスの影響で3年連続で中止となった。

5月21日から6月1日までに先行開催6競技が終了。主要競技の学校対抗は陸上が男女共に弘前実、硬式野球は青森山田、軟式野球は五所一、自転車は工大一が制した。

注目の総合優勝争いは男子

青森県高校総体 きょうから主会期

工大一男子 連覇狙う

(闘魂旗)が、硬式野球を制し、サッカーやラグビー、体操なども強い青森山田が優位に立つ。連覇を狙う工大一はレスリングや水泳、ソフトテニス、ボウリングなどでいかに優勝を上積みできるか。

女子(明朗旗)は、ソフトテニス、ボウリングなどが強い工大一、サッカーや弓道で優勝候補に挙げられる八学光星、バレーボールやアーチェリーが強い前年覇者の青森西、バスケットボールとソフトボールでV有力な柴田、先行開催の陸上を制した弘前実など混戦模様だ。

3日はサッカーや卓球などが各地で行われる。

(上村公信)